

## 「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	自然環境の再生		
施策	①自然環境再生型公共事業の推進			
(施策の小項目)	○失われた自然環境の把握			
主な取組	自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	実施計画 記載頁	20	
対応する 主な課題	○本県の大きな財産である自然環境を毀損することのないよう、生物の多様性、環境の保全・再生に視点をおいた公共事業の実施や技術開発など、時間をかけて本来の姿に再生することが求められている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	自然環境を戦略的に再生するための自然環境再生指針(仮称)(以下「再生指針」という。)を策定するとともに、自然環境再生モデル事業を実施する。 また、自然環境の保全や再生型の公共事業を実施するための環境経済評価を取り入れた費用便益計測手法(以下「環境配慮型B/C」という。)を確立し、当該手法の考え方を再生指針に反映する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	自然環境再生指針の策定			自然再生モデル事業		自然再生事業	県
	環境配慮型B/Cの構築		多自然型河川改修モデル事業(B/Cモデル事業)				
担当部課	環境部環境政策課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	32,697	31,320	自然環境の変遷等の実態調査・検討等を行い、沖縄県自然環境再生指針を策定した。また、環境配慮型B/Cを、庁内外の意見照会を経て確立した。	一括交付金 (ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
自然環境再生指針の策定			—	策定
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	自然環境再生事業の実施に当たっての基本的な考え方を体系的にとりまとめた沖縄県自然環境再生指針を作成できたことで、自然環境再生事業を推進していく足がかりができた。また、同事業の推進に役立つツールとして環境配慮型B/Cを確立できた。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	30,787	昨年度に策定した沖縄県自然環境再生指針に基づくモデル事業の実施をとおして、自然環境再生事業の全県的な展開を図っていく課題等を整理する。	一括交付金(ソフト)

(3) これまでの改善案の反映状況

自然環境の再生の取組の意義や、自然環境再生指針の内容について、シンポジウムや関係行政機関連絡会議の開催により、県民や関係行政機関等、幅広く関係者に理解や周知を図った。  
 自然環境が有する防災機能の効果が限定的であるため、過年度の調査結果や自然環境再生検討会の意見等を踏まえ、当該機能の活用にあたっての留意点等を再生指針に反映した。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
自然環境の再生率	調査中(24年)	「自然環境再生指針」の策定	「自然環境再生指針」の策定	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	関係行政機関や県民などの意見も取り入れながら、平成27年3月に、目標を前倒して、沖縄県自然環境再生指針を策定している。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・自然環境の再生にあたっては、関係行政機関、関係団体、地域住民等の幅広い主体が協働して推進していく必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・自然環境再生の推進にあたっては、関係者の意見も取り入れながら進める必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・自然環境再生事業の推進にあたり、モデル事業の実施による事例の積み上げやワークショップの開催等関係者への周知や理解を図る取組を実施する。

## 「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	自然環境の再生		
施策	①自然環境再生型公共事業の推進			
(施策の小項目)	○再生に向けた防災技術の研究			
主な取組	自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	実施計画 記載頁	20	
対応する 主な課題	○本県の大きな財産である自然環境を毀損することのないよう、生物の多様性、環境の保全・再生に視点をおいた公共事業の実施や技術開発など、時間をかけて本来の姿に再生することが求められている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	自然環境を戦略的に再生するため、自然環境の有する防災機能の活用等を体系的に示した自然環境再生指針(仮称)(以下「再生指針」という。)を策定するとともに、自然環境再生(モデル)事業を実施する中で、自然環境が有する防災機能等の把握に努める。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	自然環境が有する防災機能の研究					→	県
担当部課	環境部環境政策課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成26年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	32,697	31,320	自然環境の変遷等の実態調査・検討等を行い、沖縄県自然環境再生指針を策定した。	一括交付金(ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
自然環境再生指針の策定			—	策定
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成26年度取組の効果			
順調	自然環境再生事業の実施に当たっての基本的な考え方を体系的にとりまとめた沖縄県自然環境再生指針を作成できたことで、自然環境再生事業を推進していく足がかりができた。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成27年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業	30,787	昨年度に策定した沖縄県自然環境再生指針に基づくモデル事業の実施をとおして、自然環境の再生に伴う防災機能の変化等の予測検討を実施する。	一括交付金(ソフト)

## 様式1(主な取組)

### (3) これまでの改善案の反映状況

自然環境の再生の取組の意義や、自然環境再生指針の内容について、シンポジウムや関係行政機関連絡会議の開催により、県民や関係行政機関等、幅広く関係者に理解や周知を図った。

自然環境が有する防災機能の効果が限定的であるため、過年度の調査結果や自然環境再生検討会の意見等を踏まえ、当該機能の活用にあつての留意点等を再生指針に反映した。

### (4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
自然環境の再生率	調査中 (24年)	「自然環境 再生指針」 の策定	「自然環境 再生指針」 の策定	—	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	関係行政機関や県民などの意見も取り入れながら、平成27年3月に、目標を前倒して、沖縄県自然環境再生指針を策定している。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・自然環境が有する防災機能の効果が限定的であることを踏まえ、当該機能を期待した環境再生事業を全県的に展開する際には、精度の高いシミュレーションを行うなど、十分に効果等を検討する必要がある。

### (2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・沖縄県自然環境再生指針に基づくモデル事業の実施にあたり、自然環境が有する防災機能の効果が限定的であることを踏まえ、その活用にあつては、精度の高いシミュレーションを行うとともに、類似の事例の検証等を行う必要がある。

## 4 取組の改善案(Action)

・沖縄県自然環境再生指針に基づくモデル事業の実施にあたり、自然環境が有する防災機能の効果を考慮した精度の高い予測シミュレーションを行うとともに、自然環境再生事業の実績を積み上げていく。